

観光拠点施設(道の駅あかがわ)

■所在地	北海道余市郡赤井川村字都 190 番地 16	■木材使用量	243.00m ³
■設置者	赤井川村	うち地域材	216.70m ³
■構造	木造平屋建	■使用樹種	構造 カラマツ
■延床面積	612.00m ²		内装 カラマツ、トドマツ



◆施設の概要

本施設は国道393号のほぼ中間に位置しており、主に村外からの利用者を対象にした観光案内施設になっており、農産物直売所や食堂については地元の方にも度々利用されています。

◆工法等の特徴

本施設は、木材の見た目を活かした周囲の山村風景に馴染むような山小屋ロジック風で天井が高く大きい三角屋根が特徴的で、また、暖房については見た目にも暖かみのある薪ストーブを採用し、木造施設であることを利用者に強く印象づける造りとしています。

構造部材は後志産のカラマツ集成材を内装の柱や梁に多く使用し、在来軸組工法を採用しました。

◆整備に当たり苦慮したこと

2年前に同様の事業を行っていたこともあって設計時に地元森林組合と協議を行いながら発注予定分の木材は確保できましたが、建物規模に対してのコストが高かったように感じます。

◆利用者の声

安らぎや暖かみがある、地域材を促進した方がよいという意見が多いなか、価格や事業効果等について検討すべきという意見もありました。